

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

理美容はさみ

株式会社ナルトシザー

職人技が光る抜群の切れ味 オーダーメイドで自分仕様 海外にも販路拡大

本社工場では、13人のはさみ職人が刃を調整する作業に打ち込んでいます。ナルトシザーのはさみは互いの刃がこすれ過ぎないように、微妙なたわみとしりのバランスを持たせています。刃を特殊な金づちでたたきながら作り込むたわみ具合は、わずかに新聞紙1枚分です。「調子がよければ1日に1ダース。でも集中を切らすと1本も検査を通らない日もありません」とこの道12年になる渡邊信太郎さん。「このはさみは手放せないと言っていたことが仕事の原動力になっています」と話します。

52年前の創業時に「21世紀の不思議なハサミ」のキャッチフレーズで売り出され、比類のない切れ味で道具にこだわる理美容師をうならせました。以来、一人一人の要望に応じるうちに職人の技術もより向上。50数年の間に素材や研ぎ方も変化を遂げてきたそうです。

23人いる営業担当社員は、同社の技術が結集したはさみのサンプル30本分をかばんに詰め込んで全国の理美容室

を訪問します。実際に使ってもらい、切れ味の具合や刃の長さの要望を聞き出し、手の形や大きさに合わせたはさみをオーダーメイドで作ります。納品したはさみには1本ずつシリアルナンバーが付けられ、データを管理します。

普及品と比べ価格の桁が1つ上がりますが、ナルトシザーの品は研がずとも切れ味の衰えが少なく「長く使っていただければその価値は分かってもらえる」と長谷川敏雄社長。いったん手になじんだはさみへの愛着は強く、修理の依頼が絶えません。中には50年近く同じものを使い続けている理美容師さんもいるそうです。

現在力を入れるのがアジア市場。中でも中国での売り上げはここ数年伸びています。著名な美容師を招いての技術講習などの企画も人気を集めています。

「良いはさみを使って、良い商売をしていただきたい」と長谷川社長。使う人のことを思って作る職人の丁寧な手仕事はこれからも変わりません。



はさみに刻印されたシリアルナンバー



微妙なたわみ具合を金づちで調整する

◎株式会社ナルトシザーの
理美容はさみ

株式会社ナルトシザー／所在地: 宝塚市安倉北2-19-23／代表取締役: 長谷川敏雄
事業内容: 理美容はさみの製造
TEL 0797-81-1263／URL <http://www.narutoscissors.co.jp/>

編集後記

「元気企業訪問」に登場する柴プラスチックの2代目、中柴直樹さんはグラフィックデザイナーという異色の経歴の持ち主。父の良夫社長とは異なる視点での“ムダ”の発見が会社をより強くしていると感じました。

JUMP

2017年3月号 平成29年2月28日発行
発行人: 榎本輝彦 編集人: 角 正憲

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター

URL <http://web.hyogo-iic.ne.jp/>

神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル6階

TEL 078-291-8526